

(市長記者会見資料)

令和6年度予算 第二次編成の概要



京都市

令和6年5月21日

行財政局 財政室
(222-3291)

1 市政運営の方向性

(1) 市政運営の目指す姿

◇市民を主役とした「突き抜ける世界都市 京都」の実現

- 日本中・世界中の人々から、京都に住みたい、住み続けたい、働きたい、活躍したいと思われ、**選ばれるまちづくり**
- 高齢の方から未来を担う子どもたちまで、すべての方々が互いに支え合い、個性を発揮しながら、いきいきと活躍される「居場所」と「出番」のあるまちづくり



市民が主体的に市政に参画、対話を重ねながら、課題解決を図る
「市民参加型の行政」、つまり「**新しい公共**」を積極的に推進

(2) 重点政策分野

突き抜ける「世界都市京都」の実現

(視点：新しい公共、すべての人に居場所と出番を)

重点政策分野

* 令和6年度予算の
第一次編成時と同様

◆市民第一主義で人々から選ばれるまち京都

◆突き抜ける魅力のある文化首都・京都

◆文化首都を支えるつよい経済の復活

◆すべての人に「居場所」と「出番」のある京都

◆全国に先駆ける京都型共生社会モデルの形成

◆いのちとくらしを守る防災・減災対策

2 令和6年度予算(第二次編成)の主なポイント

(1) 予算編成の考え方

- ① 第二次編成は、「突き抜ける世界都市京都」の実現に向け、
- ◆ 人々から選ばれる、住みやすい、働きやすい、活躍しやすいまちをつくり、人口流出を抑制するための施策
 - ◆ 新たな文化的な価値や、つよい経済の創出につながる施策
- などに係る予算を計上

〔※ 第一次編成は、市政運営に支障を来さないよう、義務的・継続事業に加え、迅速に対応が必要な減災・防災対策、観光課題対策等を強化した予算を計上〕

- ② 第一次編成と合わせ、**令和6年度予算は、市民の皆様にお約束した公約実現に向けて、力強い一歩を踏み出す予算であり、**社会課題の克服はもとより、京都の未来を見据え次の世代に託す、種まきとなるような施策を、速やかに着手できるものから予算化



突き抜ける世界都市の実現に向けた基盤づくりのための予算

2 令和6年度予算(第二次編成)の主なポイント

③ また、今後に向けて、

- ◆ 京都のまちの未来像を示す次期総合計画について、
様々な市民参加の手法も取り入れながら、
具体的な内容を検討



- ◆ 公約の実現に向けて、予算化していない事業についても
本格的な検討に着手！

具体的な実施方法や時期・財源等を検討のうえ、必要に応じて、順次
予算化

＜公約の実現に向けて検討を進めている事例＞

- 宿泊税の引き上げを含めた制度の在り方について、検討委員会に諮問
- 市バス・地下鉄の市民優先価格の実現に向けて、国土交通省と協議を開始

2 令和6年度予算(第二次編成)の主なポイント

(2) 令和6年度予算の全体像

(単位：億円)

	令和 5 年度 (A)	令和 6 年度(B)			対前年度増減(B-A)	
			第一次	第二次	増減額	増減率
経 費	9,315	9,616	9,514	102	+ 301	+ 3.2%
一般財源	4,531	4,658	4,608	49	+ 126	+ 2.8%

◇ R⑥予算（第一次＋第二次）は、R⑤予算に続く **収支均衡予算を継続**

◇ **R⑥予算規模：9,616億円**

- 対R⑤予算比：＋301億円（＋3.2％）
- 過去2番目の規模を維持（過去最大はR③予算の1兆円）
- 第二次編成の財源：財政調整基金に積立てた49億円を活用

◇ **臨時財政対策債を除く一般会計市債残高（R⑥末見込）：7,996億円**

- 対R⑤末比：△157億円（△1.9％）

(参考①) 歳入予算の内訳

(単位：億円)

項 目	R⑤予算 (A)	R⑥予算 (B)	R⑥予算		増減額 (B - A)
			第一次	第二次	
市 税	3,128	3,178	3,178	—	+ 50
府 税 交 付 金	508	487	487	—	△21
地 方 交 付 税	641	663	663	—	+ 22
国 ・ 府 支 出 金	2,176	2,308	2,298	10	+ 131
使用料及び手数料	211	222	222	—	+ 11
市 債	593	482	457	25	△110
そ の 他 収 入	2,058	2,276	2,208	68	+ 218
合 計	9,315	9,616	9,514	102	+ 301

(参考②) 歳出予算の内訳(行政目的別)

(単位：億円)

項 目	R⑤予算 (A)	R⑥予算 (B)	R⑥予算の内訳		増減額 (B - A)
			第一次	第二次	
社 会 福 祉 費	3,263	3,512	3,510	2	+ 249
保 健 衛 生 費	662	554	527	26	△108
産 業 経 済 費	1,607	1,554	1,550	4	△53
都 市 建 設 費	666	735	699	36	+ 69
教 育 文 化 費	1,312	1,325	1,307	18	+ 12
消 防 費	195	223	223	0	+ 28
総 務 費 そ の 他	705	811	796	15	+ 106
公 債 費	904	902	902	—	△2
合 計	9,315	9,616	9,514	102	+ 301

(参考③) 歳出予算の内訳(性質別)

(単位：億円)

項 目	R⑤予算 (A)	R⑥予算 (B)	R⑥予算		増減額 (B - A)
			第一次	第二次	
給 与 費	1,563	1,660	1,660	—	+ 97
扶 助 費	2,288	2,522	2,522	0	+ 235
物 件 費 そ の 他	2,905	2,780	2,741	39	△126
投 資 的 経 費	694	724	664	60	+ 30
公 債 費	896	896	896	—	0
積 立 金	144	234	234	—	+ 90
繰 出 金	826	800	797	3	△26
合 計	9,315	9,616	9,514	102	+ 301

3-1 主な新規・充実事業等

市民第一主義で人々から選ばれるまち京都

〔以下の項目は一部再掲含む〕

<取組の方向性>

子ども・保護者の視点に立った子育て・教育環境の充実や、地域公共交通の維持など地域の魅力向上等を促進し、若者・子育て世代が定着し、住み続けられるまちを目指す。

加えて、多様で多才な人材が京都に集結し、地域との交ざり合いを促進し、移住・定住及び関係人口を拡大することで、都市の魅力を高め、日本中・世界中の人々から選ばれるまちを目指す。

①人口流出の抑制につながる子育て・教育環境の充実、地域生活の魅力向上

2, 6 1 9 百万円（うち二次分：1, 5 3 6 百万円）

- 住宅取得費の負担軽減のため、子育て世帯を対象に、既存住宅を購入し、リフォームする場合に対する奨励金制度を創設

奨励金：最大200万円、全国トップ水準！



3-1 主な新規・充実事業等

- 公園の魅力アップにより、子育て環境を充実
遊具の更新箇所を倍増、トイレの洋式化を促進！
特に洛西地域は、公園の魅力アップに資する予算を倍増！
- 病児・病後児保育の受入環境を充実（利用キャンセル時の補填）
- 学校トイレの洋式化を加速
普通教室のある階のトイレを原則、洋式化（令和10年度までに達成）
- 起業家精神を育て未来のチャレンジにつなげる中高生プログラムの実施
クリエイティブな人材との交流により、若者の探究心を育成！
- 山科・醍醐地域の活性化に向けた地域との機運醸成 など



<参考> 第一次編成の主な新規・充実事業

- 希望される方が産後ケアを利用できる環境の整備
- 医療機関で受診する1か月児の健康診査費用を新たに助成
- 児童生徒の多様な学びの場の確保など、不登校対策を強化
- 全員制中学校給食の早期実施に向けた取組推進
- 小・中学校の空調設備更新（導入調査）、学校体育館の空調設置の検討 など

3-1 主な新規・充実事業等

②市民生活を支える地域公共交通の維持・確保

599百万円（うち二次分：326百万円）

- 「バス路線維持補助金」を創設し、公営・民間バスともに路線を維持！
国の財源を活用し、運行維持確保補助金（第一次編成）と合わせた支援
- 公共交通の担い手確保・定着に向けた支援

＜参考＞第一次編成の主な事業：運行維持確保対策事業

③京都の強みを生かした、移住・定住及び関係人口の拡大の推進

37百万円（二次分のみ）

- 世界の多彩なクリエイティブ人材を京都に招聘
創作活動等を通じた地域・若者との交ざり合いにより、新たな価値を創造！
- 「京都市移住・定住応援団」との公民連携により
移住・定住の取組を推進
- 京都の大学等で学ぶ学生を対象に、京都の多様で
奥深い魅力を学ぶ体験の場を創出



3-2 主な新規・充実事業等

突き抜ける魅力のある文化首都・京都

<取組の方向性>

多彩な才能を持つ方が集結し、地域や文化と交ざり合うことにより、これまで大切に培ってきた文化の継承・発展に加え、新たな文化的な価値を創出。

あわせて、京都の主要産業の一つである観光を推進していくとともに、市民生活と調和した持続可能な観光の実現等を目指す。

①文化の力で国内外から選ばれるまちの実現に向けた基盤づくり

138百万円（二次分のみ）

- 世界の多彩なクリエイティブ人材を京都に招聘【再掲】
創作活動等を通じた地域・若者との交ざり合いにより、新たな価値を創造！
- アート市場の活性化に向けて若手芸術家支援を強化
制作等の活動拠点整備、アートフェアとの連携など
- 音楽文化都市の核となる京都コンサートホールの魅力向上・大規模改修
- 観光客のニーズが高い伝統文化体験の創出及び国内外に向けた
プロモーション、多言語でのパンフレットや音声ガイドの整備等
- 文化庁、京都府、経済界等と連携した美術館の夜間開館の実施 など

3-2 主な新規・充実事業等

②市民生活と観光の調和に向けた観光課題への対策

1, 081百万円（うち二次分：183百万円）

- 魅力の発掘・創出・発信による分散化の推進
 - 府市連携による周遊観光の促進
 - 嵯峨嵐山エリアにおける定番スポットへの集中の緩和
 - 海外インフルエンサーの発信力を活用した分散化・観光モラルの発信
 - 文化庁、京都府、経済界等と連携した美術館の夜間開館の実施【再掲】など
- 混雑対策・手ぶら観光の推進
 - 手ぶら観光の推進に向けた市内宿泊施設等を巡回する専用バスの導入実験
 - 京都駅一極集中緩和に向けた情報発信の更なる強化など
- 観光がもたらす効果・市民割引情報等の発信による市民共感の促進



CELEBRATING 90TH
京都市美術館90周年記念祭
撮影：吉見峻

<参考> 第一次編成の主な新規・充実事業

- 市民利用と観光利用の棲み分けに向けた「観光特急バス」の新設
- 混雑緩和に向けた市バスの増車
- JR京都駅の新たな駅舎及び自由通路の整備 など

3-3 主な新規・充実事業等

文化首都を支えるつよい経済の復活

<取組の方向性>

地域産業の成長・発展はもとより、新たな産業の創出、若者の就職促進等により、力強い経済が市民生活を支えるまちの実現を目指す。

①創業支援・企業立地促進の強化

78百万円（うち二次分：39百万円）

- 首都圏の投資家や、京都のスタートアップ等との交流の推進により、経営人材の確保・大型資金調達へ
- 伴走支援や発信強化等により大学研究者の研究開発の社会実装化を促進
- 起業家精神を育て未来のチャレンジにつなげる中高生プログラムの実施【再掲】
クリエイティブな人材との交流により、若者の探究心を育成！
- らくなん進都における産業用地の創出
農地から産業用地へと転換を行う場合の奨励金の創設



<参考> 第一次編成の主な新規・充実事業

- 成長段階に応じたスタートアップ支援の強化
- らくなん進都の企業立地を一層促進するため、本社・工場等新增設等支援制度を充実 など

3-3 主な新規・充実事業等

②地域経済を支える地域企業等の成長・発展

59百万円（うち二次分：7百万円）

- 業種別団体と連携したインターンシップを通じた市内就職促進
- スタートアップ等との連携による商店街・地域の活性化を支援

＜参考＞第一次編成の主な新規・充実事業

- 商品開発等につながる設備投資を行う伝統産業事業者への支援強化
- 大阪・関西万博を契機とした海外企業等の訪問・視察の誘致 など



③若者の京都での就職・定着促進

68百万円（うち二次分：60百万円）

- 業種別団体と連携したインターンシップを通じた市内就職促進【再掲】
- 若手社員の定着支援に向けたプログラムの実施
- 公共交通の担い手確保・定着に向けた支援【再掲】
- 林業の担い手確保・定着に向けた支援 など

＜参考＞第一次編成の主な新規・充実事業

- 宿泊事業者の担い手確保支援



3-4 主な新規・充実事業等

すべての人に「居場所」と「出番」のある京都

<取組の方向性>

社会福祉協議会をはじめとした民間団体、京都が誇る住民組織等と連携し、官民の施設等も活用しながら、身近かつ気軽に、相談・交流できる居場所と、市民等が地域に貢献できる出番を創出。地域ぐるみで支え合い、高齢の方から子どもまで、すべての人に居場所と出番のある京都を実現する。

①重層的支援体制の構築 78百万円（うち二次分：26百万円）

- 寄付金を活用し、地域の福祉的活動に取り組む団体を支援
活動団体への支援を通じ、支援を必要とする方の居場所を増やし、
地域住民の出番（活躍の機会）を創出
- 社会的孤立などの状態にあり、複合的な課題を抱える世帯や、制度の狭間にある世帯に対する支援体制を強化（地域あんしん支援員の増員）
- 買い物支援など、地域の支え合い活動を促進させるための支援体制を強化（地域支え合い活動創出コーディネーターの増員） など



<参考> 第一次編成の主な新規・充実事業

- 複雑・多様化した困難な問題を抱える女性に対する総合支援窓口を設置
- 子育て支援活動いきいきセンター（つどいの広場）の充実（40か所→41か所）

3-4 主な新規・充実事業等

②課題に直面する方が安心して、尊厳をもって生活できる環境の整備

64百万円（二次分のみ）

- 住居を喪失した方等に対する地域資源等を活用したソフト事業の強化
 - 地域で安心して生活できるよう、アパートの一室など、居宅に近い環境での生活訓練を実施
 - 居宅生活移行後も、定期訪問等を通じた見守り支援を行う等、地域に根差した伴走支援を強化
- 障害のある方が地域生活の継続・施設からの地域移行ができるよう、地域生活支援拠点等の相談機能等を充実（モデル実施：伏見・深草地域（南部圏域））
- がん患者のアピアランスケアを支援（ウィッグ等の購入費用を助成）



3-5 主な新規・充実事業等

全国に先駆ける京都型共生社会モデルの形成

<取組の方向性>

自然共生社会（地球温暖化対策、循環型社会構築、生物多様性保全を三位一体で推進する社会）と、地域共生社会（様々な方が繋がりあい地域が元気になる社会）を一体で進める京都型共生社会モデルを形成

①地域コミュニティの活性化 25百万円（二次分のみ）

- スタートアップ等との連携による商店街・地域の活性化を支援【再掲】
- 幅広い世代が楽しめるニュースポーツを通じて地域スポーツを活性化 など

②地球温暖化対策、循環型社会構築、生物多様性保全の一体的な推進

42百万円（うち二次分：24百万円）

- 資源物の店頭回収を促進するため、小売業者に回収ボックス設置費用等を助成
- 深泥池・宝ヶ池地域におけるニホンジカ対策の強化 など

<参考> 一次編成の主な新規・充実事業

- 運輸部門の脱炭素化促進に向けた、自動車運送事業者に対するEV等の車両の導入支援
- きょうと生物多様性センターを核に、保全活動の支援等を拡充し、新たな活動を創出
- 自然と調和した環境負荷ゼロを目指す農業モデルの構築支援 など



3-6 主な新規・充実事業等

いのちとくらしを守る防災・減災対策

〔 全て第一次予算で計上 〕

< 取組の方向性 >

令和6年1月の能登半島地震で明らかとなった建物の倒壊や水道管の破損、道路の寸断等の課題に対応するため、いのちとくらしを守る防災・減災対策を強化

①建物等の耐震・防火対策の強化 4 1 8 百万円（一次分のみ）

< 参考 > 第一次編成の主な新規・充実事業

- 京町家、木造住宅の耐震・防火改修への支援を強化
- 細街路の道路幅員の確保に向けた取組を強化 など

②地域防災拠点の充実 5 7 百万円（一次分のみ）

< 参考 > 第一次編成の主な新規・充実事業

- 子どもや女性、高齢者の観点などを踏まえ、災害用備蓄物資を拡充 など

3-6 主な新規・充実事業等

③地域における消防・救急機能の対応力強化 1, 390百万円（一次分のみ）

＜参考＞第一次編成の主な新規・充実事業

- 京都府南部消防指令センターの共同整備（運用開始：令和9年度）
- 通報現場と消防指令センターを映像でつなぐ119映像通報システムの導入 など

④防災インフラの強化 445億円（令和5年度12月補正及び一次分）

＜参考＞第一次編成の主な計上事業

- 道路橋りょう整備・河川浸水対策 56億円
- 上下水道施設の機能維持・向上対策 328億円 など

4 政策推進に当たっての基盤づくり

○市役所組織の風土改革へ！職員力・組織力の更なる向上

54 百万円（二次分のみ）

若手をはじめ職員の意欲向上とチャレンジ精神あふれる組織風土の醸成、政策立案機能の向上等を図り、職員力・組織力の更なる向上を目指す

- 若手職員中心のチームが課題解決に向けた施策等を議論する仕組みを創設
- 職員が主体的に課題分析や企画提案を行い、そのキャリア形成を支援する「庁内ベンチャー制度」を創設
- 市役所における、DX人材の育成や生成AIの利活用を推進
- 公民連携により、区役所機能を高め、地域の強みを生かした取組を推進（例：移住・定住につながる取組の予算を計上）



都市の成長戦略の推進に加え、上記の取組を推進するため、外部の専門的知見を有する人材と積極的に協働

5 健全な行財政運営の確保

- 令和6年度予算は、令和5年度に続き収支均衡予算とするとともに、過去負債の計画的な返済（公債償還基金の返済）を行うなど、**持続可能な行財政運営の確立に向けてさらに前進**
- 今後も、景気変動リスク等にも留意しながら、**緊張感を持った財政運営**をしていく。

<現時点での中期財政収支試算>

（単位：億円）

項 目	R 6	R 7	R 8	R 9
一般財源収入の見通し（A）	4,658	4,640	4,750	4,770
（うち 市税、府税交付金、 地方特例交付金等）	3,787	3,840	3,890	3,940
（うち 交付税・臨財債）	755	800	860	830
歳出に要する一般財源	4,658	4,640	4,750	4,770
社会福祉関連経費の見通し	1,280	1,310	1,330	1,360
人件費の見通し	1,519	1,500	1,570	1,550
公債費の見通し	866	880	900	910
過去負債の返済の見通し	10	10	10	10
第二次編成に備えた積立	42	0	0	0
小計（B）	3,716	3,700	3,810	3,830
上記以外の歳出（C：A－B）	941	940	940	940
収支の見通し（A－B－C）	0	0	0	0

一般財源収入の増加が見込める一方、歳出では、社会福祉関連経費、人件費、公債費の増も見込まれることから、今後も財源確保の取組が必要

※ 左記見込みについては、機械的に試算
 ※ 国民健康保険事業への繰出金（社会福祉関連経費の内数）は、医療費等の動向次第で変動があるが、令和6年度並みで据置き。
 今後の保険料及び繰出金の在り方は、国や京都府の対応を踏まえ、予算編成の中で検討

(参考)予算計上を休止していた事業の方向性

令和5年度予算に続く収支均衡を達成し、**健全な財政運営を継続**。
行財政改革計画中に、**予算計上を休止していた事業について、以下のとおり対応**

(1)投資事業

計画の集中改革期間中（令和3～5年度）、危機的な財政の緊急対策として、**本来実施が必要な19事業の予算計上を一時休止**。

このうち、**設計済や地元調整などが進んでいる以下の事業を再開**。実施に当たっては、工期の平準化等により、財政負担を適正にコントロールしていく。

<令和6年度に予算計上を再開するもの>

中山石見線、葛野西通、鴨川東岸線（第3工区）、山陰街道、御陵六地藏線、無電柱化（八坂通・新橋通）、動物園サルワールド再整備

(2)補助金

休止期間中の検証を踏まえ、補助金としての事業の必要性が認められるものは、**効率的・効果的な形での再構築や、民間資金の活用**などにより予算計上

<令和6年度に予算計上した例>

らくなん進都企業立地促進のための土地所有者奨励金
農地から産業用地への転換に限定し、交付額を大幅拡充して時限的に実施
（土地の売却、土地の貸付けともに上限額を約2倍に）